

小学校総合的な学習の時間

ふるさと森川海の つながりを考えよう

『JTの森積丹』で豊かな自然を学ぶ活動

JTの森積丹森づくり促進協議会（佐藤勝次会長・積丹観光協会ほか6団体）は、野塚小学校、日司小学校、余別小学校の3～6年生を対象に、森川海のつながりで形成される積丹町の豊かな自然環境への理解を深める体験学習を行いました。

延べ17時間の総合的な学習の時間で6回にわたり開催された自然体験学習は、町内350haの町有林『JTの森積丹』で、

JTの森積丹生態調査業務などを継続して受託している（株）地域環境計画（札幌市）が講師を務めました。

同生態調査結果をもとに作られた「いきものこぼれ話かるた」を教材に、積丹町に生息している動植物の特徴を学習した後、川・森・海の順に野外学習を行いました。川の授業では、サケ・マスの専門家を招き、産卵床と遡上個体数の調査を行いました。



▲9月27日 余別川流域エリア

た。森の授業では、積丹町に生育する「樹木の図鑑」を作成するため、樹木の特徴を調べ記録しました。海の授業では、町地域おこし協力隊の小山彩由里隊員（積丹やん集小道協議会）も

講師を務め、海岸に漂着する生物や漂着物について、「しゃこたんの海岸図鑑」を作成しました。授業は、海岸の生物だけでなく、町内の海岸にも流れ着く身近な地球環境問題「海洋マイクロプラスチック」について学習しました。



▲10月30日 JTの森 美国川流域エリア

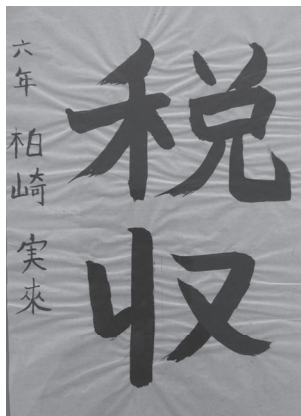
「森や海のいきもの図鑑」は、児童それぞれの視点で記録をとり、成果物にまとめあげたため、個性あふれる図鑑が完成しました。そして、作成した図鑑をもとに、体験学習の感想を発表しました。

この活動は、『JTの森積丹』森林利用事業として令和4年度から始まり、今年が2回目です。積丹町の豊かな自然環境は身近にあり、その存在が当たり前と感じてしまいがちですが、専門的な体験学習を通じてその重要性や魅力に気づき、郷土への愛着を深めることを目的に今後もこの活動を続けることにしています。

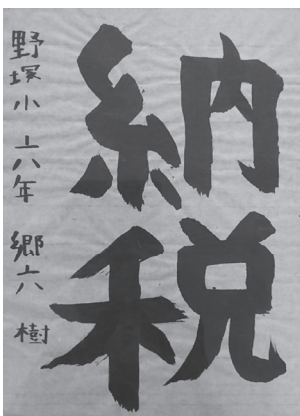
『小学生の税に関する書道展』 『税に関する絵はがきコンクール』 作品展示

「税を考える週間」（11月11日～17日）で、余市税務署主催の「小学生の税に関する書道展」と余市地方法人会女性部会主催の「税に関する絵はがきコンクール」に町内小学校から「書道」8点、「絵はがき」に1点の応募がありました。北後志5町村では、書道入選作品は、11月9日～16日の間、総合文化センターで展示されました。

244作品の応募があり、当町から、柏崎 実来さん（余別小6年）が「余市税務署長賞」を、郷六 樹さん（野塚小6年）が「余市地方法人会長賞」に入選しました。



▲柏崎 実来さん（余別小6年）
余市税務署長賞



▲郷六 樹さん（野塚小6年）
余市地方法人会長賞



▲展示会場

2024年春のオープンが楽しみ！ 積丹岳休憩施設を修繕

「積丹岳登山道休憩施設（山小屋）」が屋根と外壁の修繕工事に、きれいな外観と山小屋の機能を取り戻しました。現在の山小屋は、国有林・積丹岳森林レクリエーションの拠点施設として、多くの登山者に利用されていますが、昭和56年の建設から42年余り

が経過し、老朽化が著しい状況でした。今年度の修繕は、総事業費605万円で森林環境譲与税を活用し、昨年度の日本森林林業振興会札幌支部の助成金で実施した柱材と腰壁・土台の部分補強を追加した修繕工事が行われました。



▶積丹岳登山道休憩施設「山小屋」

山小屋は、冬季閉鎖を迎えるため、来シーズンからの利用となりますが、積丹岳の秀峰と積丹町の豊かな自然を楽しむため訪れる多くの積丹岳登山愛好者から期待と感謝の声が寄せられています。

地域おこし協力隊員を 紹介します！

11月1日着任

(一社) 積丹やん集小道協議会

さとう かな 佐藤 佳奈 隊員



父・祖父母がかつて野塚に住んでいたことから、私自身も生まれた頃から縁のある積丹町。

その歴史・自然・文化から未来に活かせる資源を探し出し、町の発展につなげていきたいです。

(小樽市出身)

地域おこし協力隊 レポート

Information

11月1日現在、15名の『地域おこし協力隊』が委嘱され、町内の団体や事業所で活躍しています。

各隊員の活動内容や今後の目標などを広報しゃこたんで連載しています。

【所属先】



おやなぎ かずひろ 小柳 和弘 隊員 (株) 流出

11月には冬のしおかぜB・BQやグランピングの準備を行い、新しいしおかぜ羊を町民の皆さんにお見せできるように準備しています！

10月には町内の様々なイベントを始め、羊を通じて町民の皆さんとの交流を深めました。



くにみ ゆき 國見 祐介 隊員 (株) しゃこまる

夏海の季節が終わり、秋は主にE・M・T・B(電動アシストマウンテンバイク)を用いたツアーを実施しました。また、古平町の地域おこし協力隊とも連携して、両町に跨る観光資源の活用、アクティビティ造成を進めています。

夏の海の季節が終わり、秋は主にE・M・T・B(電動アシストマウンテンバイク)を用いたツアーを実施しました。



おやま さゆり 小山 彩由里 隊員 (一社) 積丹やん集小道協議会

今年度は、これまで実施してきた「学び」分野のイベントやツアーをまとめあげ、海森「学校」という屋号のもと活動をしていきます。町の歴史文化・自然を活用しながら、ヤマシメ番屋・石蔵を拠点とした取り組みに今後も尽力していきますので、ぜひご注目ください。

今年度は、これまで実施してきた「学び」分野のイベントやツアーをまとめあげ、海森「学校」という屋号のもと活動をしていきます。



すぎはら げん 杉原 元 隊員 (株) 積丹スピリット

積丹スピリットで蒸留所や畑、イベントなどの作業をしています。クリスマスには、「ドラフト・アブサン」はいかがでしょうか？生き生きとしたボタニカルを感じることができて感動しますよ！

積丹スピリットで蒸留所や畑、イベントなどの作業をしています。



はっとり みゆき 服部 美幸 隊員 (株) 積丹スピリット

10月より土日祝日限定で蒸留所を開放しているのですが、町内の方も見てください。岬の湯しゃこたんで「見学受付」をしており、温泉とセットでお気軽にお越しください。試飲も行っていきますので、積丹の自然の恵みで育てたボタニカルの香りをいっばい詰め込んだ「積丹ジン」を是非味わってください。

10月より土日祝日限定で蒸留所を開放しているのですが、町内の方も見てください。